

# 経済ニュースの？が分かる！ 数字で見る経済

ベンチャー  
ビジネス

## 大学発VBを「設立」or 大学発VBに「なる」!? 数字で大学発VBを考える

### 大学発VB累計800社に。 昨年度末、経産省調査 (2004年4月26日 日本経済新聞より)

経済産業省は、大学の「知」をビジネスの核として設立する大学発ベンチャーの創出拡大を図るために、2001年5月に「大学発ベンチャー1,000社計画」を発表しました。2004年度末までに1,000社設立することを目標とし、政府が一丸となって支援策を講じているところです。経済産業省が行った調査によると、2003年度末の時点で大学発ベンチャー企業数は約800社(799社)に達し、目標達成のためには今年度約200社の「設立」が必要です。

経済産業省が定義している「大学発ベンチャー」は、大学で生まれた研究成果を基に起業した企業ばかりではありません。こうしたケースは全体の6割で、残る4割の中には起業後に大学のリソース(資源)を活用した企業も含まれています。それらの分類と799社の内訳は表1のとおりです。

これから起業する「設立」だけでなく、既存企業であっても設立5年以内であれば、「大学発ベンチャーになる」可能性があります。また、大

学発ベンチャーになると、技術開発についての補助金の補助率が高くなるなどのメリットがあります。

近年、大学では産学連携窓口の設置が進められており、企業が相談に訪れるのを待ち受けています。こうした窓口は利用した企業からも一定の評価を受けているようです(詳細は「近畿経済産業局『近畿地域における産学連携意識調査報告書』平成16年3月」を参照のこと)。

大阪府に所在する大学発ベ

ンチャーの企業数は、現在のところ59社であり、全国の7.4%を占めています。さらに、今年度から国立大学が法人化されるなど、創業環境が一層整備されることから、このチャンスを活かして更なる大学発ベンチャーの登場が期待されます。

表1 大学発ベンチャーの分類と799社の内訳(2003年度末時点)

	企業数	比率
1 大学で生まれた研究成果を基に起業したベンチャー	484	60.6%
2 大学と関連の深いベンチャー	315	39.4%
●設立5年以内に大学と共同研究を行った	83	10.4%
●設立5年以内に大学から技術移転を受けた	15	1.9%
●設立5年以内に大学の施設等を利用した	23	2.9%
●大学と深い関連のある学生ベンチャー	52	6.5%
●大学のビジネス講座等を受講して起業した	23	2.9%
●技術移転事業、大学向けのベンチャーキャピタル	30	3.8%
●その他、大学と深い関連のあるベンチャー	73	9.1%
●倒産、清算、合併、活動停止した大学発ベンチャー	16	2.0%
大学発ベンチャーの合計	799	100.0%

資料: 経済産業省 大学連携推進課、報道発表「平成15年度大学発ベンチャーに関する基礎調査」結果について(速報) 平成16年4月26日

### 井上智之(いのうえさとし)

1970年生まれA型。某シンクタンクで関西の産業振興に関する調査をしていたが、縁あって大阪都市経済調査会へ。俯瞰的な分析を徹底するクールさと「いつかは独立したい」というアソビ野心を併せ持つが、泥酔すると昭和歌謡で突然踊り出す奇怪な一面も。休日は「日本一のラーメン」を求めて各地をさまよう。

表2 大学発ベンチャーの所在する都道府県ベスト10(累積ベース)

順位	都道府県名	企業数	H15年度設立数
1	東京都	208	21
2	大阪府	59	11
3	神奈川県	51	5
4	京都府	49	5
5	福岡県	47	6
6	北海道	36	10
7	愛知県	27	6
8	宮城県	25	2
9	兵庫県	23	5
10	茨城県	18	4